

大塚 讓名誉教授略歴・業績等

【学歴】

- 1970年3月 慶応義塾大学法学部政治学科（政治学専攻）卒業
- 1973年3月 慶応義塾大学大学院法学研究科修士課程（政治学専攻）修了
- 1976年3月 慶応義塾大学大学院文学研究科修士課程（独文学専攻）修了
- 1977年3月 慶応義塾大学大学院文学研究科博士課程（独文学専攻）退学

【学位】

- 1976年3月 文学修士（慶応義塾大学）

【職歴】

- 1977年4月 酪農学園大学教養科講師
- 1980年4月 小樽商科大学商学部講師
- 1982年10月 小樽商科大学商学部助教授
- 1991年10月 小樽商科大学言語センター助教授
- 1990年8月～1992年3月
ミュンヘン大学「外国語としてのドイツ語」研究所客員研究員
- 1994年10月 小樽商科大学言語センター教授

【専攻】

ドイツ語教育学，現代ドイツ論

【研究分野】

総合的ドイツ語コミュニケーション能力の習得をめぐる実践的研究／
統一ドイツの社会的諸問題

【担当授業科目】

ドイツ語Ⅰ・Ⅱ／国際コミュニケーション／学問原論／研究指導

【所属学会】

日本独文学会教育部会，日本独文学会，国際ドイツ語教員連盟

【著作】

【1】教科書

『マティーンアス君の日本体験記』（共著、白水社 1986年）

【2】学術論文

1. 『悲劇の誕生』論：ディオニュソスの生の構造をめぐって
ノルデン第15号（1978年10月） 24-38頁
2. 『悲劇の誕生』論：ディオニュソスの生の構造をめぐって（承前）
ノルデン第16号（1979年10月） 56-68頁
3. W. Raabe “Stopfkuchen”論：語りの仕組みと読者の立場(1)
人文研究第64輯1982年10月 117-139頁
4. W. Raabe “Stopfkuchen”論：語りの仕組みと読者の立場(2)
人文研究第66輯1983年8月 45-62頁
5. W. Raabe “Stopfkuchen”論：語りの仕組みと読者の立場(3)
人文研究第68輯1984年8月 43-69頁
6. W. Raabe “Stopfkuchen”論：語りの仕組みと読者の立場(4)
人文研究第68輯1987年8月 21-49頁
7. 西ドイツと比較した日本の戦争責任問題のいくつかの特徴
「天皇」問題を語る（「天皇」問題を語る市民の会発行）[16-24頁]
1990年2月
8. 何が問われているのか？ —「大綱化」と大学の語学教育改革—
Language Studies 創刊号（13-23頁）1993
9. 旧東独の若者たちにおける排外的傾向の背景 — いくつかの意識調査から。私学公論，（49-58頁）1993
10. ドイツ語教育の自立のために —「大綱化」が問い掛けているもの。
ドイツ語教育部会報45号（34-41頁）1994
11. 日本の外国語学習者における受動性の歴史的背景 — 対外的言語政策と学習態度（独文）。人文研究88輯（37-51頁）1994

12. 外国語教育の目標設定 — 『必修制』の是非との関連で (独文)。
日本独文学会ドイツ語教育部会編「ドイツ語 教育」第2巻 (40-49
頁) 所収, 1995
13. 「テーメン」による学習者中心の授業の試み — 95年ドイツ語 I A
授業報告。人文研究 91 輯 (55-75 頁) 1996
14. 「テーメン」1 新版による授業における克服課題 — 第4課を手掛か
りに (独文) Language Studies 第4号 (13-26 頁) 1996
15. 良い経験 — 2 年次生のためのインタビュープロジェクト (1) (2)
(独文) Language Studies 4-5 号, 1996-1997 (Heike Papenthin
と共著)
16. 日本の大学の外国語教育の活性化のために — 教育と研究の背離を
越えて。人文研究 94 輯 (27-46 頁) 1997
17. 楽しく, アクティブに, そしてインテンシブに!
第一回 (97 年度) 春季ドイツ語インテンシブコース報告
Language Studies 6 号 3-14 頁
18. 楽しく, アクティブに, そしてインテンシブに!
第二回 (98 年度) 春季ドイツ語インテンシブコース報告
Language Studies 7 号 3-17 頁
19. 楽しく, アクティブに, そしてインテンシブに!
第三回 (99 年度) 春季ドイツ語インテンシブコース報告
Language Studies 8 号 13-28 頁
20. 初級ドイツ語クラスにおける中間口頭試験 — 効果的な反復練習の
場 — 教養論叢 (慶應義塾大学日吉教養部) 116 号 (鐵野善資先生記
念論文集) [47-67 頁] 2003 年
21. 外国語授業におけるメール連絡網の活用 — 連絡の改善から授業の
改善へ。
ヘルメスの翼に [小樽商科大学 FD 活動報告書] 第3集 (31-42 頁)
2006 年 3 月